



沖縄本島の米軍基地から有害物質PFAS（PFAS）を含む汚染水が流されました。生活水への影響が出ており、住民の健康被害がないか心配です。県や宜野湾市、金武町などが米軍に対して有害物質を流さないように注意しても改善する様子がありません。沖縄では長年、

米軍基地内の様子が分からず、有害物質が流出したり、基地返還後に有害物質が見つかったり、問題が続いてきました。これまで、どのような有害物質が米軍基地から流され、どうして改善することができないのでしょうか。頭硬めの頑固おやじ・石がんと一さんが解説します。



# 抗議後に放水、改善されず

ピーファス、ピーフォア、  
たったたらた〜♪

こらーっ！ おへそをチラ  
リとさせながら何て不謹慎な  
歌を歌っておるのじゃー。

ニュースでピーファスだと  
かピーフォス？、ピーフォ  
ア？とか、よく聞けど何だか分か  
らなくて…歌っちゃった。てへ。

ピーファス(PFAS)は  
人間が便利じゃからと作り出  
した化学物質・有機フッ素化合物の  
ことじゃ。1940年代から広まって、  
水や油をはじいて熱に強いなどの特  
性があるから食べ物の包み紙やフライ  
パンの加工、消火剤などに使われ  
ておる。水や食べ物を通して人の体  
に入ってしまうとがんになりやす  
くなったり、生まれてくる赤ちゃんに  
悪影響があるなど、有害な物質なの  
じゃ。普通、物というのは自然の中  
で分解し、リサイクルされていくも  
のじゃが、PFASはほとんど分解  
されない「永遠の化学物質」とも呼  
ばれておる。生き物の体内に蓄積さ  
れることも分かっている。PFAS  
は数千種類の化学物質の総称じゃが  
中でもピーフォス(PFOS)、ピー  
フォア(PFOA)※1は毒性  
が強いとされておるのう。

便利だけじゃバイの作っ  
ちやっただことなんだね。

そうじゃの。マクドナルド  
が2025年までにすべての包装  
・容器からPFASを全廃するなど  
の動きも出ておる。じゃが、県内  
ではPFASが汚染水として米軍基地  
から流れ出てきて問題になってお  
る。

ギョエ。それってバイリ  
ゆう。米軍基地から有害物質  
が流れ出てくりゆうの？

基地内で使用する泡消火剤  
には高濃度のPFASが使わ  
れておる。基地内では兵器に絡んだ  
有害物質を扱っているからのう。昨

年4月には米軍普天間飛行場から泡  
消火剤が流出して住宅街まで飛ん  
でいった。今年6月にはうるま市の  
米陸軍貯油施設から大雨でPFOS  
を含む汚染水が流出した。金武町  
では水道水や地下水で国の示した数  
値※2を超えるPFASが検出さ  
れておる。水は生きていくうえで最  
重要なものじゃ。水にまつわること  
で生活の安全が脅かされては住民は  
たまったものではない。県も市町村  
も住民も米軍に抗議しておる。

抗議して、米軍が言うこと  
を聞いてくれたのなら安心で  
きりゆね。

それが言うこと聞かん坊な  
のじゃ。米軍は7月、普天間  
飛行場でPFASの処理水を基地外  
に放出することにした。玉城デニー  
知事は「絶対に認めない」としてい  
たのじゃが、8月26日に一方的に下  
水道に放水したのじゃ。米軍は安全  
に処理したと言っておるが、宜野湾  
市の下水道では国の示した数値の  
13.4倍に当たるPFASが検出され  
た。結局残りの汚染水は日本の防衛  
省が引き取って焼却処理すること  
になったのじゃ。

えー！なんてひどいんだ  
りゆう〜！

以前から基地の中はどうな  
っているのか分からないブラ  
ックボックス状態で問題が起きてい  
る。米軍基地が返還されることにな  
り、県民のために活用できると思っ  
たら、有害物質が出てきて困るとい  
うことが何度も起きておる。基地内  
の環境汚染は常に注意しないと。

おかしいことがあったら、  
すぐに直したらいいのに。

日米地位協定というルール  
があるの日本側は米軍基地  
内になかなか立ち入り調査ができ  
ない。基地がある限り、続くこと  
ではあるが、おかしいことはしっか  
りと直すよう取り組まねばならんぞ。

※1 PFOS、PFOA  
ペルフルオロオク  
タンスルホン酸(PFO  
S)、ペルフルオロオクタン酸(PF  
OA)の頭文字からの呼称。国連の  
「残留性有機汚染物質に関するストック  
ホルム条約」(ストックホルム条  
約)で規制対象となっている。

※2 国の定めた数値 厚生労働省  
がPFOSとPFOAの合計で1%当  
たり50ナノグラムという暫定目標値を設定し  
ている。米国環境保護庁は70ナノグラムとし  
ているが、カリフォルニア(11.6ナノグラム)、  
ミシガン(24ナノグラム)、ニュージャージー  
(27ナノグラム)など、より厳しい基準を  
独自に設定している州もある。







# PFAS

パーフルオロアルキル化合物および  
ポリフルオロアルキル化合物  
有機フッ素化合物




「PFAS」と総称される有機フッ素化合物は数千種に上る。中でも「PFOS」や「PFOA」は発がん性や血中コレステロール上昇などのリスクが指摘され、現在は国際的に使用や製造が原則禁止されている。PFASは環境への残留性が極めて高く、PFOSやPFOAは規制後も地下水などを汚染し続けていることが問題となっている。一方、物質としての安定性の高さから泡消火剤や防水剤、食品包装紙などに幅広く使われてきた。

## 米軍基地の有害物質に関する経緯

1960年代～70年代	米軍嘉手納基地内の「ため池」にポリ塩化ビフェニール(PCB)入りの油投棄	
1975年8月23日	浦添市が在沖米軍牧港補給基地から猛毒・六価クロム検出と発表=写真①	1
1996年3月	米軍恩納通信所跡地で高濃度のPCBや有機水銀が見つかる=写真②	
2003年11月13日	那覇防衛施設局が北谷町の米軍キャンプ築跡で鉛、ヒ素、六価クロム検出と発表	2011年撮影 2
2016年1月12日	県企業局、比謝川等で高濃度PFOSの検出公表 普天間飛行場周辺の地下水3カ所から高濃度のPFOS検出	
2019年5月12日	沖縄市池原でPFAS最大2600ナノグラム(1㍉あたり、以下同)検出 嘉手納基地周辺でPFAS最大1300ナノグラム、比謝川周辺で最大1800ナノグラムを検出	
2020年4月6日	米軍普天間飛行場から泡消火剤が流出=写真③ 金武町の地下水でPFASが検出され、3カ所で取水停止	3
2021年6月10日	うるま市の米陸軍貯油施設からPFOSを含む消火用水が流出=写真④	
7月12日	県議会がうるま市のPFOS流出に抗議決議	
8月26日	米軍が普天間飛行場でPFASの処理水を基地外に放出=写真⑤	
9月8日	宜野湾市議会が米軍のPFAS処理水放出に「激しい怒り」の抗議決議=写真⑥	基地外へ流れる米軍のマンホール
9月10日	県議会が米海兵隊のPFAS汚染水の放出に抗議決議	
9月16日	金武町の地下水でPFAS検出が町議会でも明らかになる	6

登場するのは  
石がんと一さん

政治・経済などの話題に強い硬派なおやじ。真面目でウチナー愛が強く、ちょつと涙もろい。年齢不詳。いつも三線を携えている。



紙面制作 関戸塩、上原明子